

## 所信表明書

この度、奈良県立医科大学附属病院院長に立候補させていただきました現病院長の吉川公彦です。病院長選考にあたり、所信表明の機会をいただきましたことに深く感謝を申し上げます。

私は奈良県で生まれ、奈良県で育ち、奈良県立医科大学卒業後も、2年間の海外留学を除いては奈良県内で勤務しており、奈良県と母校奈良県立医科大学を愛する気持ちは誰にも負けないと自負しております。

私は2020年4月1日に病院長に就任すると同時に、細井裕司学長・理事長を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部に設置された病院部会長を拝命し、全職員一丸となり、コロナ感染症に対する重点医療機関として中等症・重症患者を中心に受け入れました。一方、感染状況に応じて、病床稼働率、手術枠を適宜調整し、コロナ以外の重症患者、救急患者の受け入れも行い、奈良県の最終ディフェンスラインとしての機能維持に努めました。今後も本学附属病院が、県内医療機関と連携しながら地域医療を支え、さらに奈良県の基幹病院として、また特定機能病院として、高度で先進的な医療を安全に提供できる、国内外でも存在感のある病院として、発展するよう誠心誠意努力する所存です。

以下に、選考委員会からお示しいただいた病院長選考基準に従って、所信を述べさせていただきます。

### 1. 医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有していること

医療安全の確保には医療安全に関する情報を収集・分析し、適切な対策を講じることが基本です。

そのために

- 1) 医療安全に対する診療内容のモニタリングや医療安全の認識の浸透度の確認を行い、結果に基づく事故等の防止策を立案、マニュアル作成、取り組み状況の確認と指導を行います。
- 2) 死亡例の全例報告、死亡例以外でも一定以上の事例の全職員からの迅速な報告を徹底します。
- 3) 高難度新規医療技術導入プロセスを明確化します。
- 4) 法律家や一般人も含めた監査委員会、医療安全管理委員会による自己点検と内部統制の強化を実行します。
- 5) 重大な有害事象発生時には、多職種、専門家を交えたタイムリーな検証と再発防止策の実施、患者や家族への説明、対応を適切に行います。

以上を徹底し、ガバナンスの強化と医療安全文化の醸成に努めていく所存です。

### 2. 人との信頼関係を重視し、社会規範、コンプライアンスを遵守できること

積極的な対話、協力を通じて良好な信頼関係を築くとともに、社会規範を尊重し高い倫理観に基づき、社会人・医療人として法令を遵守し、良識に従って行動する所存です。

- 1) 患者の安全と利益保護：患者の生命と健康を最優先に考え、専門知識と技術を駆使して最善の医療サービスの提供に努めます。
- 2) 患者の権利尊重：患者のプライバシー、自己決定権、情報提供権を尊重し、患者とのコミュニケーションを重視し、診断・治療に関する情報を共有し、了解を得た上で判断や決定を行います。
- 3) 個人情報保護：患者の個人情報を適切に保護するため、関連する法律や倫理規定に従います。

氏名

吉川公彦

### 3. 奈良県立医科大学附属病院の理念を実現するための熱意、戦略、実行力と将来ビジョンを有すること

- 1) 奈良県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践：最終ディフェンスラインを目標に他の医療機関では治療が難しい症例を積極的に受け入れ、高度・先進医療を推進するとともに、24時間365日のERを含めて救急医療体制を強化し、また災害拠点病院として、奈良県民を守り、地域の安心の確保に貢献できるよう努力します。
- 2) 奈良県内基幹病院としての機能充実：基幹病院として、がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患をはじめとするあらゆる疾患に着実に対応できる専門医の育成を行うとともに、病院設備の拡充を行い、安全で安心できる最善の医療提供体制の構築を推進します。新A棟開設に向けて「医療機能の充実」、「地域医療の強化」、「より良い環境の整備」、「教育・研究機能の充実」をコンセプトとする基本計画を策定し、既存棟も含めた病院機能の再編と最適化を図っていきます。
- 3) 地域医療機関との機能分担、緊密連携の推進：紹介受診重点医療機関を標榜し、紹介率・逆紹介率の向上、連携登録医の集い・地域医療連携懇話会等を通じた病診連携・病病連携の強化、地域医療機関との機能分担、緊密連携を推進し、地域医療構想の実現に邁進します。
- 4) 各領域の担い手となる医療人の育成：専門的知識と技術に裏付けされた質の高い看護師を担保するため、特定行為研修（急性期・在宅コース）修了者を増やし、リソースナースセンターによる計画的な人員配置による医療の質向上と効率的なタスクシフトの実践を図るとともに、当院と地域の看護師能力の向上に努めます。地域に貢献する医療人の確保を目的に質の高い薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、医療技術者の育成を行います。臨床研修プログラムを充実させ、奈良県専門協議会での協議を経て、県内基幹病院と連携して、専攻医養成プログラムの充実を図り、県内専攻医の登録率向上を目指します。

### 4. 組織管理能力等の当院を管理運営する上で必要な資質及び能力を有していること

- 1) 病院長として副院長、プロジェクトリーダー、病院執行部との綿密な情報・意見交換を行い、意思決定、合意形成によるガバナンスの強化に努めます。
- 2) 病院経営に必要な会議・委員会の開催、中期計画に沿った年次計画の作成、理念・基本方針の整合、部門・部署ごとの目標設定、達成度評価を行うことで、本院の管理運営に努力します。
- 3) 臨床各科部長、中央診療施設長、看護部長と定期的に意見交換を行い、課題の抽出と解決法を模索し、質の高い診療、教育、研究の実践に努めていきます。

### 5. 法人の運営について、他の役員と一致団結して、公立大学法人奈良県立医科大学の発展に貢献できること

大学と密に連携して附属病院の円滑な運営と経営改善を行うとともに、全職員が一致団結して、中期計画目標を達成しつつ、トランスレーショナルリサーチ、産学連携の推進による高度・先進医療の開発・普及を通じて、本学が今後も存在感のある大学として益々発展できるよう努力致します。

### 6. 医療従事者の新しい働き方についてリーダーシップを発揮できること

各部署での業務上の課題を抽出、共有し、業務内容の標準化、質の向上、効率化を行い、働き易く、やりがいのある職場環境の醸成に努め、新しい働き方を実現し、職員のモチベーションの向上と患者と心が通える温かみのある医療実践に取り組んで参りました。今後の具体的な取り組みとして以下の5点を上げさせていただきます。

- 1) 臨床現場から働き方改革に関する情報と自発的なアイデアを収集・分析するとともに、厚生労働省や全国医学部長病院長会議の検討委員会に積極的に出席し、議論を参考に、更なる医師の労働時間管理

氏名

吉川公彦

の適正化に向けた取り組みを実行していきます。

- 2) 医師事務作業補助者、看護補助者、病棟クランク、医療技術者の適正な配置、救急救命士の新規採用により、タスク・シフト/シェアを推進し、作業効率を改善します。
- 3) 奈良県病院協会、地域医療対策協議会と協議し、各医療機関での宿日直許可取得を推奨し、院内と院外を合計した医師の労働時間の適正化と地域医療のあり方を検討していきます。
- 4) 最善の医療を行うため、多職種によるチーム医療を推進し、意思決定を迅速に、かつバランス感あるものにします。
- 5) あらゆる職種に対し、作業の安全性と効率性を考慮し、ITの導入を推奨します。

#### 7. 臨床研究を推進するための戦略と実行力を有すること

私は IVR（画像下治療）に先進的に取り組み、各種 IVR 手技の臨床的有用性を検証するとともに、基礎的研究に裏付けされた新規 IVR 手技・デバイスの開発に取り組んできました。

- 1) 今後は多施設共同研究、産学連携を推奨し、臨床研究センター主導のシーズ発掘、研究の支援と適切な遂行、監査を含めた臨床研究体制の構築を推進し、質の高い臨床研究により医師の県外流出防止・人材確保を図るとともに、優秀・有名な医師の確保・育成に努め、高水準の医療技術の開発・集積により、最高の医療を提供できる施設を目指します。
- 2) 奈良臨床研究ネットワーク（NARA net）を推進し、県内の協定医療機関との連携強化、支援充実を図り、奈良県全体の研究力と医療水準の向上に努めます。

以上、患者と心が通い合う人間味あふれる「良き医療人」の育成に尽力を致しますとともに、地域との緊密な連携のもとに地域医療を支援し、奈良県医療の基幹病院、最終ディフェンスラインとしての機能をより一層強化します。また最先端の医療技術の習得に努め、その開発に大きく貢献できる存在感のある大学附属病院を目指し、安全で安心できる、質の高い医療を提供するために、病院長として精一杯尽力する所存ですので、何卒、ご支援・ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

氏名	吉川公彦
----	------